

Lactococcus lactis由來の β -アセチルグルコサミニダーゼ73A、組換え型

Cat. No. NATE-1290

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明

この酵素は、複数の炭水化物から非還元末端の β 1-2、 β 1-3、 β 1-4および β 1-6結合のN-アセチルグルコサミンを放出します。低濃度 (<50 mU/ml) のオリゴ糖とインキュベートすると、酵素は GlcNAc β 1-2Man、GlcNAc β 1-4Man および GlcNAc β 1-6Man の結合を区別できます。このような条件下では、酵素は基本的に β 1-2結合のGlcNAcのみを切断しますが、2つの条件があります。第一に、 β 1-2 GlcNAc は、置換されたマンノースが C-6 で置換されている場合には加水分解されません。したがって、この酵素は三叉オリゴ糖の分析に有用です。第二に、保存されたペントサッカライドコアの β 結合マンノースが「ピセクティング」GlcNAc で置換されている場合、 α 1-3アームのマンノースに結合した β 1-2結合のGlcNAcのみが切断されます。酵素の濃度が高くなると、 β 1-4 および β 1-6結合のGlcNAc も加水分解される可能性があります。

別名

ペータ-N-アセチル-D-ヘキソサミニダーゼ; N-アセチルヘキソサミノヒドロラーゼ; β -N-アセチルヘキソサミニダーゼ; N-アセチル- β -D-グルコサミニダーゼ, β -N-アセチルグルコサミニダーゼ

製品情報

種

ラクトコッカス・ラクティス

由来

E. coli

形態

35 mM NaHepesバッファー、pH 7.5、750 mM NaCl、200 mM イミダゾール、3.5 mM CaCl₂、0.02% ナトリウムアジ化物および25% (v/v) グリセロール

分子量

19.4 kDa

純度

>90%はSDS-PAGEによる

濃度

1 mg/mL

最適pH

6.8

最適温度

35 °C

特異性

ペプチドグリカン

保管・発送情報

保存方法

この酵素は室温で発送されますが、-20 °Cで保存する必要があります。